

みんなのわ!



ひで
秀しず会



が続きます。

今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため施設訪問や毎年出演している文化団体連盟祭などのイベントも中止となってしまうと腕が鈍ってしまうとマスクを着用するなど感染予防をしながら週に一度、約4時間の練習に励んでいます。熱心に練習する理由を「聴いてくれた人たちが手拍子をしたり、一緒に歌ってくれたりすることが一番の喜び」と語るのは、会長の福岡かすみさん。聴いてくれた人の笑顔を自分たちのエネルギーにして、さらによい演奏を目指すメンバーのやる気は十分。訪問の再開を心待ちに練習の日々が続きます。

「はっ」威勢のよい掛け声から始まる、民謡と三味線の音。歌いながら三味線を演奏する「秀しず会」は、平成16年に活動が始まったボランティア団体。現在のメンバーは15人。例年、月に1回程度高齢者施設などへ訪問し、観客に息のそろう民謡と三味線の音色を披露しています。

聴いてくれた人の笑顔を
見ることが一番の喜び



会長 福岡 かすみ さん

活動内容

民謡三味線に興味がある方、初心者でも歓迎します。一緒に演奏できることを楽しみにしています。

- 活動日 毎週木曜日
- 時 間 午後1時30分～4時
- 場 所 土岐津公民館

問 ☎ 2631 (代表 森 渡志ずさん)



民謡を歌いながら指導をする森さん